

## まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 12 日（月） 9：59～11：56

場 所：富士中央公民館

出席者：14 人

1. 開会
2. 町長挨拶  
※資料確認
3. 説明事項  
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）  
※質疑応答
4. 懇談  
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）  
※自由懇談
5. 閉会

### 《懇談会内容》

質疑：北海道胆振東部地震の停電の際に、電気が通るとの情報はいつごろわかったのか。

町長：事前通知はない。桜山の上水施設は、断水の恐れがあったことから防災担当者から北電に要請して、通電してもらった。

質疑：自家発電設備はどこまで整備されているのか。役場にはあるのか。

町長：役場、農村環境改善センター、南部公民館、スポーツセンターの 4 カ所にある。

意見：夕張川の氾濫など気掛かりなのだが、ハザードマップは作成しているのか。

総務課：平成 27 年度に防災ガイドブックでハザードマップを掲載していた。来月の 12 月広報で新しい防災ガイドブック配布予定である。

町長：河川整備の要望はしている。

質疑：下水道配管更新で、地域によっては済んでいないところもあると思うが。

建設課：用途区域はほぼ終わっていて、農村地区は希望を受け付け、都度町で対応している。

意見：栗山町には宿泊施設が少ないように感じている。もっと整備した方が良い。

町長：インバウンドの関係で外国人観光客が増えている状況であり、また、本町ではさまざまなイベント・大会を開催しており、宿泊施設のニーズもあると思う。しかし、行政で直接行うのは難しいので、民間企業の誘致などしっかりやっていきたい。

質疑：栗山町は地番が飛び飛びな箇所があり、わかりづらい。整備は出来ないのか。

町長：地番を付け直すのは現実的に難しい。地番がわかりづらい場合は、案内板で対応が考えられる。区の再編は必要だと思う。また、中里・みなみ中里・富士などは 5 丁目にするなど、字名の改正は、調査研究を進めていきたい。

意見：錦地区の再開発の時に、周辺である富士川の改修や、錦から富士に抜けられる道路の整備など併せて検討してもらいたい。

町長：全体的な構想として検討していきたい。

意見：町から道路や用排水の補修要望の照会が町内会にきていたが、現時点で声をあげていないと、後々対応してもらえないのか。

町長：現時点で気になる箇所があれば提出していただき、町では優先順位をつけて対応していく。

意見：来年度、富士地区の基盤整備が予定されているが、水道管の埋設工事がおそらく50年くらい前に行われているものだと思うが、埋設管の更新も併せてお願いしたい。

建設課：当時はおそらく最短ルートで管を引いたりして、その後に地権者が変わっていたりして、難しい部分もあるが、基盤整備事業が始まるまでに検討したい。

意見：栗のブランド化に対する、最終的な町長のビジョンをお聞かせ願いたい。

(町長)当初は、生産をどんどん増やして6次産業化とのビジョンから始まった事業だった。しかし、現状は生産量を増やすこともなかなか難しく、何とか現状維持をしており、本町の特産品の一つとして位置付けている。現在、(東山で栗の栽培を手掛ける)池田さんがさまざまな取り組みをしようとしているので、支援していくつもりである。